

プロフィール

当社は、1918年(大正7年)に山口県徳山町(現在の周南市)で、当時は輸入品に依存していた「ソーダ灰(炭酸ナトリウム)」の国産化を目指し創業しました。ソーダ灰は産業の基礎素材であり、当時の日本の産業振興に不可欠な素材でした。

その後、様々な化学製品を製品群に加えながら、現在では、半導体関連製品の情報・電子分野、メガネレンズ材料や歯科器材など生活・医療分野、セメント・資源環境事業の環境分野を主なフィールドとして事業を展開しています。

当社は、2018年2月16日に創立100周年を迎えました。これからも化学をベースに、新しい価値を創造し、提供し続けることを通じて、人々の幸せや社会の発展に貢献してまいります。

事業のあゆみ

1918年～1944年 創業・ソーダ工業専業期

- 1918年 ソーダ灰事業・創業
- 1938年 セメント事業進出
- 1940年 無機化学品事業拡大

1945年～1960年 第1ステージ 無機関連事業拡大期

- 1952年 電解ソーダ事業進出

1961年～1974年 第2ステージ 石油化学関連事業拡大期

- 1964年 石油化学事業進出
- 1966年 塩化ビニル事業進出
- 1967年 イオン交換膜事業進出
- 1970年 ポリプロピレン事業進出

1975年～1989年 第3ステージ スペシャリティ・加工型事業拡大期

- 1976年 フィルム事業進出
- 1978年 歯科器材事業進出
- 1981年 建材事業進出
- 1982年 生活関連事業進出
ファインケミカル事業進出
- 1983年 エレクトロニクス事業進出
診断システム事業進出
- 1984年 多結晶シリコン事業進出
- 1985年 窒化アルミ事業進出
センサ事業進出

1990年～2004年 第4ステージ 事業の強化・再構築期

- 1992年 フィルム販売の合併会社「サン・トックス(株)」設立
- 1995年 塩ビ事業統合による「新第一塩ビ(株)」設立
- 2000年 資源環境事業進出

2005年～ 第5ステージ 海外展開加速

- 2005年 中国・浙江省に乾式シリカの製造・販売会社「徳山化工(浙江)有限公司」設立
中国現地法人「徳玖山国際貿易(上海)有限公司」設立
- 2013年 ニューカレドニアにセメント製造・販売会社「トクヤマニューカレドニア」設立



創業当時



東洋一のセメント湿式法
「マンモスキルン」(長さ185m)



徳山製造所(現在)

100年にわたる価値創造サイクル

当社の価値創造の源泉は、無機・有機化学品の製造・開発において、100年近く前の創業当初より磨き続けてきた無機・有機材料の特有技術です。この技術により生み出される製品をどこよりも低コストで製造し、世の中へスムーズに供給することを可能にしているのが、国内有数の港湾インフラと自家発電所を有する徳山製造所です。徳山製造所は、同地区に展開する周南コンビナートの一員として近隣企業との連携を深め、電力や原料の供給、廃棄物の受け入れを行っています。製造所内においても、各製品のプラントが相互に原料・製品・副産物・廃棄物を有効活用しており、高度にインテグレート(統合・集積)された高効率の生産体制が構築されています。

特有技術、競争力の高い製造所、専門スキルを備えた人材・組織などの有形・無形の資産を生かし、社会のニーズに応える製品・サービスを世の中へ提供し、顧客と共に価値を創造し続けてきた100年にわたる実績が、トクヤマのビジネスモデルであり、これからも磨き続けるべきトクヤマの強みです。



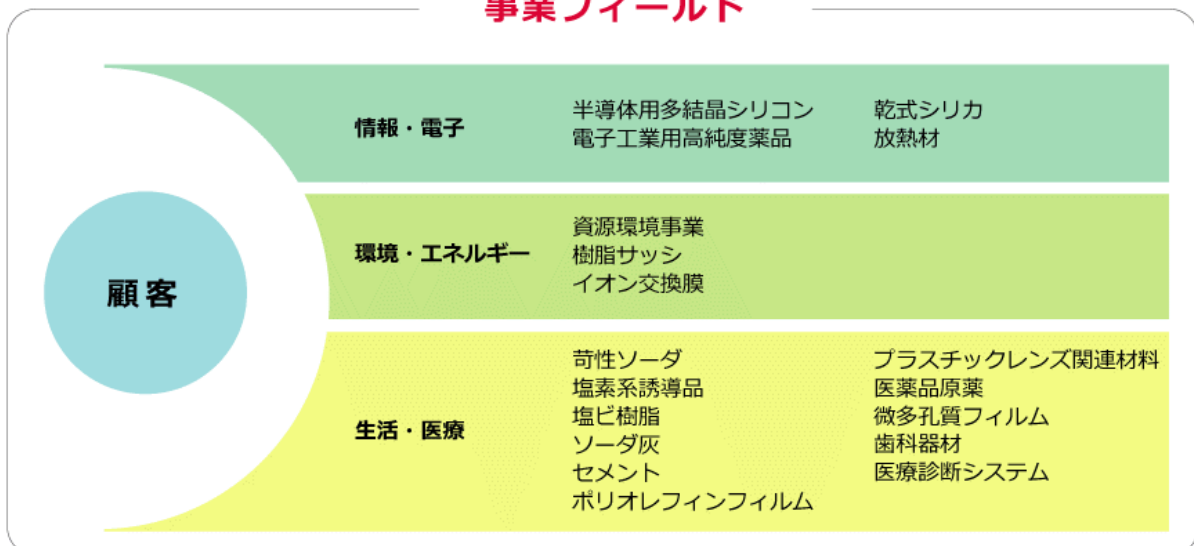
価値創造の源泉

製品・サービス

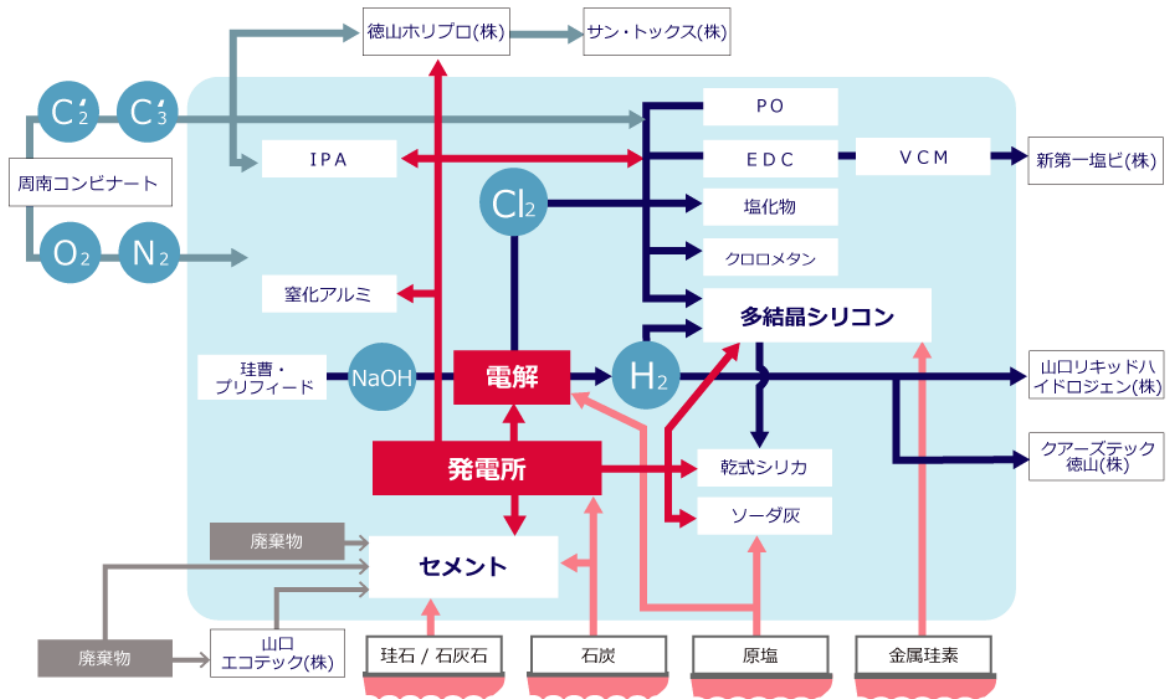


社会のニーズ

事業フィールド



徳山製造所における「オープンインテグレーション」



トクヤマグループの事業ポートフォリオ

